

## 介護老人保健施設しおさい 竹内澄江(栄養科)

**功 績** 日々積み重ねて来たしおさい内で提供する食事、イベント、企画食が地域の評判となり、しおさいの強みとなった結果、利用者さん・ご家族がしおさいへ申し込みをするまでに繋がった功績。

**推 薦 者** 算用子美登里

**推 薦 理 由** 日常から利用者さんに喜んでいただけるよう、企画食の提案、季節感を味わえる食事を常に心がけ、毎日楽しく、美味しい食事を提供しているアイデアマンであり、施設内外からの高い評価獲得に貢献しているため竹内を理事長賞へ推薦します。

### 内 容

---

栄養士の竹内は、もうすぐ入職10年目となり、これまで様々なイベント食を企画・提供し今まで積み重ねて来た様々な食事は地域から美味しいと評判に繋がっています。

それは、通所リハビリテーション利用者さんはもちろん、現在入所している利用者さんや退所された利用者さんご本人・または、ご家族がしおさいでの食事内容を近隣住民に話をし、横の繋がりで和が大きくなり、広がっているからです。

日々献立を立てる中、今年度はおやつのマナー化に着目し目標を立てております。おやつにつきましては、イベント食では昼食や夕食で提供することが多く、おやつ単体でのイベントは今まで開催したことはありませんでした。

そこで、利用者さんにおやつに食べたい物をアンケートで募り、昔懐かしいおせんべいやあんこ玉を食べたいといった要望が多かったことから「駄菓子屋さん」を企画しました。また、施設入所生活を送る上では、お金を使うという行為がなくなっていることに着目し、家で生活をしている頃には当たり前に行っていた、本物の現金を使用し買い物気分を感じていただくなど日常生活内容をプラスいたしました。

当日は、買い物に行くために、みんなで作った巾着のお財布に本物の300円を入れ、施設内に設けられた駄菓子屋さんへみんなで向かいました。利用者さんは、財布を握りしめ「これから、お菓子を買っていくの」と、とても嬉しそうに話してくださり、お店の前では「どれにしようかな」「この味がいいね」とお菓子を選んでいました。

会計では10円と30円と・・・と、ご自分で勘定しながら300円ちょうど使われる利用者さんや贅沢しないように少ないお金で大きい駄菓子を選ばれる利用者さんなど様々おられました。購入した駄菓子は、竹内の手作りの袋に詰められ、お友達同士、思い出話に花を咲かせ、普段の生活と少し違った刺激となり大変好評で素

晴らしいイベントとなりました。今回のイベントもそうですが、竹内による利用者さんの「笑顔」を意識したイベント仕掛け人としてのセンスとこれまでの実績として食事が美味しいと評判が広がり、「病前食べるのが好きだった人なので是非、しおさいに申し込みたい。」と実際に申し込みに繋がるなど食事による利用者さん獲得及び口コミによる施設の評判を作るなど広報となっております。